

会議議事録

					記録者	近藤
供 覧	部長	次長	課長	課長補佐	主査・係長	G員
件 名	令和5年度第1回龍ヶ崎市行政経営評価委員会					
年 月 日	令和5年8月9日（水）					
時 間	午後2時00分～午後3時30分					
場 所	龍ヶ崎市役所 5階 全員協議会室					
出席者	【行政経営評価委員】 大橋純一 委員、牧野光昭 委員、栗山武志 委員、石井隆太郎 委員、 原加代子 委員、小野寺乾司 委員、岡澤明子 委員 【事務局】 岡田総合政策部長 企画課 岡野課長、田中課長補佐、戸崎課長補佐 仲村主幹、菊本会計年度任用職員、記録者					
欠席者	大西徳二郎 委員、伊澤美緒 委員、飯島進 委員					
情報公開	公開	非公開（一部非公開を含む）とする理由			(龍ヶ崎市情報公開条例第 条号該当)	
	部分公開 非公開	公開が可能となる時期 (可能な範囲で記入)				
発言者	内 容					
岡野課長	<p>ただ今より、令和5年度第1回龍ヶ崎市行政経営評価委員会を開会いたします。</p> <p>なお、当委員会は「龍ヶ崎市附属機関の会議の公開に関する条例」に基づき公開となっております。</p> <p>本日は今のところ1名の傍聴の方がいらっしゃいますことをご報告させていただきます。傍聴される方におかれましては、会議中にご静粛に傍聴いただきますようお願いいたします。</p> <p>それでははじめに、本委員会の会長であります大橋会長からご挨拶をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>					
大橋会長	<p>皆さんこんにちは。</p> <p>今日は天気も悪く暑い中お集まりくださりありがとうございます。</p> <p>本日は次第にありますとおり、今年の1月から計画期間がスタートしております市の最上位計画である「龍ヶ崎未来創造ビジョン f o r 2 0 3 0」に係る進行管理に関する事務事業評価及び施策評価についての評価方法とその考え方について検討したいということで、これまでの基本的な考え方そのものが大幅に変わるとは思いますが、評価の仕方等で若干変わっていくということで審議を行います。時間も限られておりますが、よろしくお願いいたします。</p>					

岡野課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして4月の人事異動に伴いまして、担当職員が変わっておりますので、出席しております職員を紹介したいと思います。</p> <p>〈事務局紹介〉</p> <p>続きまして、本日の会議開催にあたっての注意点を説明させていただきます。</p> <p>本会議は議事録作成のため、前回同様、発言を録音させていただきたいと思っておりますので、ご発言の際にはお手元のマイクのスイッチを押してから発言いただきたいと思っております。</p> <p>発言が終わりましたら、スイッチを切っていただきますよう、ご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、この先の議事進行につきましては、「龍ヶ崎市行政経営評価委員会条例」の規定に基づきまして、会長をお願いいたします。</p> <p>大橋会長よろしくをお願いいたします。</p>
大橋会長	<p>議事に入る前に本日の会議の成立について確認いたします。</p> <p>定数が10名のところ、7名が出席しております。</p> <p>過半数を満たしておりますことから、会議自体が成立していることをご報告いたします。</p> <p>次に今回の議事録署名人ですが、栗山委員と小野寺委員をお願いしたいと思います。後日、議事録がまいましたら、確認をお願いいたします。</p> <p>それでは議題に入っていきます。</p> <p>「龍ヶ崎未来創造ビジョン for 2030」の進行管理に係る事務事業評価及び政策評価について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>〈事務局より資料に基づき以下の3点について説明〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進捗状況評価について ・事務事業評価の見直しについて ・施策評価の見直しについて
大橋会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>内容として難しいところもあるかと思います。</p> <p>評価についてのフォーマットが変わりました。</p> <p>そして、内容についても廃止や新規等いろいろありますので、審議事項を3点に分けたいと思います。</p> <p>最初に、進捗状況評価の見直しについて、何かございますか。</p> <p>私の方から質問させていただきます。</p> <p>概要版の資料構成もだいぶ変わっている中で、今までは重点項目という名称であったかと思いますが、今回はリーディングプロジェクトという名前で行くつか色分けをしているのでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。計画書の本編において、リーディングプロジェクトとしている施策が分かるよう色分けをして表記しております。</p>
大橋会長	<p>ありがとうございます。3つのプロジェクトについて、それぞれを専門に扱う部署や</p>

	プロジェクトリーダーのような役職があるのでしょうか。それとも、単に区別するために名前をつけたのでしょうか。
事務局	プロジェクトという名前を使用しておりますが、組織としてプロジェクトを立ち上げたということではなく、項目出しとしてプロジェクトという名称を用いております。
大橋会長	ありがとうございます。 進捗状況評価の見直しについては以上でよろしいでしょうか。 次に、事務事業評価の見直しについて、ご意見、ご質問はありますか。 牧野委員、お願いします。
牧野委員	進行管理シートについて、公会計システムから出すとのことですが、システム開発は終わってしまっているのでしょうか。 終わってしまっている場合に、帳票を大きく変えてくださいという提案をしても、なかなかコスト的にも難しいと思いますので、まずは今の状況を伺えればと思います。
事務局	システムにつきましては、昨年度から構築を進めておまして、今年度も引き続きデータの取り込み方法等の調整をしているところでございます。
牧野委員	ありがとうございます。 それでは、特に気になった点を申し上げさせていただきます。 進行管理シート内にあります「3事業評価・分析」における有効性の評価基準について、「内容の見直しの余地がなく」という表現にしてしまうと、本当にパーフェクトな事業しか挙げられないと思いますので、おおむね有効であるなどの表現が適切かと思えます。 また、評価項目の見出しを「有効性」としている中で、事業の目的を実現するため、このような取組をしており、その内容が適切だから成果が上がっているということを評価したいのか、それとも、事業に対する成果が上がっているということを評価したいのかが分かりません。 有効であるという言い方から考えると、一般的には取組内容が非常に事業目的に対して有効であると受け取れますが、事業に対する成果が上がっているかという質問であれば、有効であるという回答はおかしいと思います。 この進行管理シートの有効性で捉えたいところが、事業の成果が上がっているという内容であれば、選択肢を有効ではなく成果が発現している、向上しているという内容になると思えますし、取組内容が事業の目的に合致していることを示したいのであれば、有効であるという選択肢でよいと思います。 そのため、ここでは事業の実施が有効というよりも、取組内容が適切で有効という内容の評価基準にさせていただくとよいのかなと思いました。
大橋会長	いかがでしょうか。 評価基準について、何に対して有効であるかという質問であると思います。
事務局	事業評価の有効性の部分で何を評価すべきかについてですが、牧野委員のおっしゃられたとおり、取組の有効性を見るべき項目であると思いますので、今のご意見を参考に修正を検討させていただければと思います。
大橋会長	ありがとうございます。

	<p>確かに重要なところで、昨年も指標に対してよいところと不十分なところが曖昧な点もありましたので、そのあたりの区別の検討をお願いします。</p> <p>他にいかがでしょうか。ないようであれば、私の方からよろしいでしょうか。</p> <p>資料1の最後にあります評価の方法について、我々の総合評価のところに来るまでに4段階の内部評価を経て実施することなのですが、最初に評価をする人というのは所管課の課長さんなどになるのでしょうか。</p> <p>妥当性や有効性を判断するにあたり、最初にシートを作成する人の主観や判断が大きく影響すると思いますので、どういう方が作成するのか教えてください。</p>
事務局	<p>組織的な基本原則としましては、まず事業を行っている担当者がベース案の作成を行います。その後、課長補佐であるグループリーダーが確認した後、課長が確認をして、部長の決裁で企画課へ提出されるというような流れになります。</p>
大橋会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>一番よく分かっている担当の方が作成しているということですね。</p> <p>ほかにありますでしょうか。栗山委員お願いします。</p>
栗山委員	<p>数年間この委員会に参加しているのですが、資料について、厚さは変わらないですが以前は白黒になっておりました。</p> <p>今回はカラーになっており、見やすく非常によいと感じました。</p> <p>このような新しいシステムで、皆さんの仕事の効率化も図られていると感じております。</p> <p>先ほど、牧野委員からもありましたが、もし5年、10年の長期スパンで考えたときに、システムの完成後でも不具合の修正やちょっとした改修が必要となれば、柔軟に対応できるものなのでしょうか。</p> <p>これから数年間続いていくと思いますので、技術的な問題もあると思いますが、可能な範囲でそういったものも毎年、柔軟に対応できればと感じました。</p>
事務局	<p>施策評価や事務事業評価については、これまですべてエクセルを用いて手入力で実施していたものを、今回からシステム化をするということで、我々内部評価をする側と外部評価をしていただく皆様にとっても効率的にできるものと思っております。</p> <p>ただし、システム化するにあたって、様式の変更などになりますと大掛かりな作業になってしまいますので、前期計画期間の4年間については、できればこの様式で進めていきたいと考えております。</p> <p>この中で、KPIの達成状況を踏まえた目標値設定の考え方などにつきましては、委員の皆様からのご意見をいただきながら、柔軟に対応していければと考えております。</p>
栗山委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>今後いろいろな意見が出てくると思いますので、できる範囲で対応していただければと思います。</p>
大橋会長	<p>ありがとうございます。牧野委員お願いします。</p>
牧野委員	<p>主要事業の進行管理シートに指標がついており、指標の動きによって予定通り、あるいは成果が上がっているのかということ判断できるようにするという見直しは非常に分かりやすいと思いますので、適宜進めていただきたいと思いますが、システムに入</p>

	<p>力する際に各事業課の方が成果の指標として登録するのか、それとも活動指標として、どれだけやったかというようなアウトプットとして登録するのか、チョイスできるようにしていただいた方がよいと思います。</p> <p>施策評価シートに（活動）や（成果）のような形で出てくると、その指標の区別がつくので見ている方と入力している方の双方にとってわかりやすいかなと思いましたが、見直しが間に合うようであればご検討いただければと思います。</p>
大橋会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>入力する職員が活動指標か成果指標か判断に迷うことはないでしょうか。</p> <p>活動と成果とその分けについて結局は、活動した結果が成果となれば成果指標となる場合もあると思います。その辺についてはどのようにお考えですか。</p>
牧野委員	<p>例えば、SDG s のイベントをたくさん実施したら自動的に龍ヶ崎市民全員がSDG s に取り組むかということ違うと思いますので、実施したとか参加したということと、本来の目的であるSDG s に取り組む市民や理解した市民が増えたというようなところの差であると考えております。</p> <p>進行管理シートの例で言いますと、指標の2番目にある、「市民向けイベントのアンケートで「SDG s を理解した」と回答した人の割合」というのは成果指標なのかなと思います。</p> <p>様々なイベントを行うことによってSDG s の重要性を理解する人を増やしたいという事業目的の達成度が一般的には成果指標、取組の回数が活動指標と、他の自治体ではそのような分けがされていますので、混合して使うのであれば、明確に選択できるようにするとよいかなと思いましたが。</p>
大橋会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>システムの方で選択ができるようになればよいということであると思います。</p>
事務局	<p>牧野委員がおっしゃられたように、資料の例で言いますと、登録件数が活動指標にあたりまして、アンケートで理解したと回答した人の割合が成果指標というような形になります。</p> <p>指標の分けについて、こちらの様式に入れ込むとすると、指標名の最後に括弧書きで活動や成果と入れる形になる可能性が高いと思います。</p> <p>チェックボックス等に入れるようにするという方法もあると思いますが、システムでどこまで対応できるか検討させていただきたいと考えております。</p>
大橋会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>続いて、施策評価の見直しについて、主に資料3のところではいかがでしょうか。</p> <p>牧野委員お願いします。</p>
牧野委員	<p>施策評価シートのところで2点あります。</p> <p>これもKPIをつけて、達成しているかどうかを見ることと、その手段である主要事業の状況を掲載することで、貢献度合いが非常にわかりやすいと思いますが、1点目として、主要事業の状況について3事業しかチョイスできないというところです。</p> <p>1つの施策の中に主要事業が2つしかないところもあるかと思いますが、4つ以上あるところもあるかと思いますが。</p> <p>例えば、有効性で事業の成果を見るのであれば全4事業中、有効である事業が3事業、有効でない事業が1事業と全体がどうなっているのか分るとよいかなと思います。</p>

	<p>また、有効でなかった事業も1行か2行で簡単に見えてくるとよいなと思いました。</p> <p>もう1点は、KPIのところになります。</p> <p>前期の計画期間は4年間である中で、本来であれば令和8年度実績を評価して終わるのかなと思いますが、様式には、令和8年度実績欄がありません。</p> <p>計画は4年間であるのに、3年目で評価を終了してしまうというのは、何となく昔の行政のような感じがします。</p> <p>民間企業はそうではなく、4年間の計画であれば4年間経った結果を報告する。ここまでがPDCAサイクルなのかなと思っておりますので、ぜひ、令和5年度から8年度、そして目標値と比較して4年間の結果の評価についてもご検討いただければと思います。以上です。</p>
大橋会長	<p>ありがとうございます。私の方からも、関連してよろしいですか。</p> <p>主要事業の状況として3事業を取り上げる点についてですが、事業が4つ以上ある場合には、なぜその3事業を取り上げたのかという理由やその基準も必要であると思えます。いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>施策評価シートにおいて、主要な3つの事業の下に「その他の取組」という欄を設けておりますので、補足的な事業についてはそちらに加えるような考えを持っております。</p> <p>全体の事業数とそのうち有効であった事業数などに関しては、この評価シートの中で示していくのか、別紙として全体をまとめた様式を作るのかというところから検討をさせていただきたいと思えます。</p> <p>2点目のKPIの欄につきましては、いただいたご意見を踏まえ、事務局の方で検討させていただきたいと思えます。以上です。</p>
大橋会長	<p>他にいかがでしょうか。小野寺委員お願いします。</p>
小野寺委員	<p>基本的なところになるかもしれないのですが、評価の頻度について、1年に1回の報告というところがどうしても疑問に感じます。</p> <p>民間企業で言えば、ほとんどが4半期単位での活動実績を基にどうあるべきだったのかという考えを持っていると思えますが、市内部では複数回の確認を行っていらっしゃるのでしょうか。</p> <p>委員会では、1年に1回の審議となっていることからもう少し改善できそうだなと感じており、何か見直しができる手法はないのかなと思えます。</p>
大橋会長	<p>いかがでしょうか。</p> <p>PDCAサイクルを回していくには、計画を立てて事業を実施し、すぐ評価してもらい、悪い点は直していくということで、私の勤務する大学も、数年前より年1回であった振り返りを年2回実施することにより、事業に改善結果がよく反映されていると思えます。</p> <p>年1回の評価であれば、翌年度に改善されると思えますが、それでよいのかどうかということですね。もう少し、せめて2回ほど実施できたらよいのかなと思えますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>市の全体的な施策評価、事務事業評価としては、1年間を振り返って年1回実施しており、資料を取りまとめて内部の会議や委員会の皆様に報告をさせていただいているところです。</p>

	<p>現場ベースでは、所管課ごとに、月間のスケジュールを用いた振り返りや、半期が終わった時点での進捗状況確認を実施しており、進捗の遅れや課題が生じている場合には適宜対応しております。</p> <p>委員会への報告の頻度という話も含めて、情報提供のあり方については、今のご意見を踏まえて、どのような方策が適切か検討していければと思います。</p>
大橋会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>振り返りの結果を評価シートの中にすべて掲載することはできないでしょうから、特に大きなものを備考として一言触れていただく程度でよろしいかと思います。</p> <p>先ほどのご意見は非常に大切な点だと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それ以外いかがでしょうか。栗山委員お願いします。</p>
栗山委員	<p>先ほど、大橋会長より備考としてというご意見がありました。前回の資料と比較して、今回の新しいカラーの資料につきましては、非常に見やすく、我々も評価しやすくなっていると思いますが、文字数については、情報量としてだいぶ少なくなっているというイメージがありますので、備考欄等、柔軟に活用していただければと思います。</p>
大橋会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>その他、いかがでしょうか。石井委員どうぞ。</p>
石井委員	<p>資料について、大変見やすくなっており、よいなと思っております。</p> <p>龍ヶ崎市内でもたくさんの団体が取組をしており、進行管理シートの例として挙げられているSDGsに関する取組の指標設定について、できるかどうか分かりませんが、定量分析として、まち全体のごみの量がどうなったかなど、様々な観点から評価するのも面白いのかなと思いました。</p>
事務局	<p>今回の資料に例示として挙げておりますSDGsの推進については、企画課で実施しておりますので、どのような指標設定にするか検討していきたいと思います。</p> <p>また、先ほど栗山委員より備考欄の活用についてご意見がありましたが、まずは、今年度の進捗状況について、来年度皆様に評価していただく機会がございますので、1度この様式で評価をしていただいてから必要な見直しを行うという形で進めさせていただければと思います。</p>
大橋会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>まずは、今回の様式で評価を行い、ある程度変更できる箇所については変更を検討していただくという形でやってみましょう。</p> <p>このポートフォリオのところもそのまま掲載するということですね。</p> <p>ちなみに、今回は白黒の資料なのでしょうか。</p>
事務局	<p>カラーで準備いたします。</p>
大橋会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他にご質問等なければ、今日の委員会はこれで終了させていただきます。</p> <p>それでは、事務局にお返しいたしますのでよろしくお願いいたします。</p>
岡野課長	<p>はい。幅広くご意見いただきましてありがとうございます。</p> <p>本日、委員の皆様からいただきましたご意見等を参考に、取り組みを進めていきたいと考えております。</p> <p>会長、議事録署名人には後日、本日の議事録をご確認いただきまして署名をお願い</p>

	<p>いたします。</p> <p>また、その他としまして、事務連絡がございます。</p>
事務局	<p>本日はありがとうございました。</p> <p>本日ご参加いただきました報酬につきましては、委員の皆様からご指定いただきました口座に2週間ほどをめどに振り込みをさせていただきます。</p> <p>改めて振り込みに関する通知は予定しておりませんので、通帳記帳等によりご確認くださいいただければと思います。</p> <p>次回、第2回の委員会につきましては、11月の開催を予定しております。</p> <p>日時等決まり次第、改めてご連絡をさせていただきますので、よろしく願いいたします。</p>
岡野課長	<p>以上をもちまして、本日の行政経営評価委員会を閉会とさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>令和 年 月 日</p>	
<p>委員長 _____</p>	
<p>議事録署名人 _____</p>	
<p>議事録署名人 _____</p>	